



長崎県西海市にて、『さいかい子育て応援アプリ Baby ぐっど』(母子モ)からの妊娠届申請率が2年連続で9割超!

～アプリの利活用で保護者と行政の負担を軽減し、もっと子育てにやさしいまちへ～

長崎県西海市(以下、西海市)と母子モ株式会社(以下、母子モ)は、母子モが運営する自治体の子育て関連事業のデジタル化支援サービス『子育て DX^{※1}』の提供を2023年3月から開始し、妊娠届の提出や、乳幼児健診および小児予防接種の事前手続きなどにアプリを用いることで、保護者や自治体職員の負担軽減を図っています。

今回、『さいかい子育て応援アプリ Baby ぐっど』(『母子モ^{※2}』)から妊娠届を申請する割合を調査した結果、2023年度(令和5年度)の申請率は94.5%、2024年度(令和6年度)はさらに向上して97.8%となり、多くの妊婦に利用されていることがわかりました。

1. 妊娠届の申請をオンライン化し、妊婦や自治体職員の負担を軽減！

西海市では、デジタルを活用した子育て支援策として2020年9月から母子手帳アプリ『母子モ』を、『さいかい子育て応援アプリ Baby ぐっど』として導入しています。さらに2023年3月からは、『子育て DX』の「質問票サービス」、「乳幼児健診サービス」、「小児予防接種サービス」を提供し、子育て世帯の利便性向上を推進しています。

今回、妊娠届の申請方法について調査した結果、「質問票サービス」を利用して『さいかい子育て応援アプリ Baby ぐっど』から妊娠届を申請している割合は、2023年度(令和5年度)では94.5%、2024年度(令和6年度)では97.8%に上ることがわかりました。分娩取扱い件数の多い医療機関にアプリのチラシを配布し、妊娠が確定したタイミングで医療機関から妊婦へアプリを周知していることも、このような高い利用率につながる背景の一つとして考えられます。

アプリによる事前申請によって、職員はこれまで電話で行っていた予約対応や、面談当日に発生していた情報の手入力作業が1件につき5~15分削減できているほか、手続き後のシステムへのデータ入力業務も軽減されるなど、業務効率化が実現しています。さらに、面談前に申請内容を確認できるようになり、個人に寄り添った事前準備が可能となったことで、面談の質向上にもつながっています。

西海市と母子モでは、今後も、子育て世帯のさらなる利便性の向上と、子どもを産み育てやすいまちづくりを目指していきます。



2. 妊娠届の電子申請実績と成果

【電子申請の実績数値】調査期間:2023年4月1日～2024年3月31日(令和5年度)/2024年4月1日～2025年3月31日(令和6年度)

・『さいかい子育て応援アプリ Baby ぐっど』からの申請率:94.5%(令和5年度)/97.8%(令和6年度)

調査方法:上記期間での妊娠届の申請総数109件(令和5年度)/91件(令和6年度)を分母、うち電子申請数103件(令和5年度)/89件(令和6年度)を分子として算出

調査対象・件数:上記期間での妊娠届出数109件(令和5年度)/91件(令和6年度)

【電子申請の実施による効果と業務改善】調査期間:2023年4月～2025年3月

- ・電話での予約対応が削減され、予約1件につき5～10分の業務時間を短縮
- ・面談当日の情報の手入力作業が削減され、面談1件につき10～15分の業務時間を短縮
- ・母子保健システムへの入力用のデータが自動生成され、妊娠届1枚につき用紙2枚分のデータ入力業務を削減
- ・面談内容を事前に確認し、内容に応じた準備が可能となることで、面談の質が向上

調査対象・件数:上記期間での『さいかい子育て応援アプリ Baby ぐっど』からの妊娠届出数192件

3. 母子モ株式会社について

・代表者:代表取締役 萩田 貴光

・所在地:東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー35階

・事業内容:ヘルスケアに関するコンテンツ配信事業

※1『母子モ 子育て DX』:自治体の子育て関連事業のオンライン化を支援するサービス <https://www.mchh.jp/boshimo-kosodatedx>

※2『母子モ』:母子健康手帳の記録から地域の情報までを携帯で簡単にサポートする母子手帳アプリ <https://www.mchh.jp>

報道関係の方からのお問い合わせ先

長崎県西海市 健康ほけん課 TEL:0959-37-0067

E-mail:health@city.saikai.lg.jp

株式会社エムティーアイ 広報部 母子モ広報担当 TEL:03-5333-6755 E-mail:mtipr@mti.co.jp